

# IBM Storage Protect for Cloud Microsoft 365

組織のMicrosoft 365ワークロードに  
回復力を組み入れます

## ■ ハイライト

Microsoft 365環境を内外の  
脅威から保護します

バックアップおよび復元操作を  
よりきめ細やかに管理できるよ  
うになります

IBM Storage Protect for  
Cloud製品をはじめとする、包  
括的なデータ回復力ポートフ  
ォリオによるメリットを享受で  
きます

ランサムウェアなどのサイバー攻撃の脅威が急増する昨今、ITプロフェッショナルはデータ保護と災害復旧戦略の再評価を余儀なくされています。Microsoft 365などのSoftware-as-a-Service (SaaS) が関連するワークロードは特に懸念されています。このソフトウェアは、多くの人やチームがリモートで作業することが多くなった今、欠かすことのできないコラボレーションおよび管理ツールとなっています。あらゆる規模の企業がデジタルツールを活用して、より速く、よりスマートに作業することで競争上の優位性を獲得しようと奮闘する中、このようなSaaSワークロードや他のSaaSワークロードはますます普及していくでしょう。

Eメール、カレンダー、共有フォルダーが失われれば壊滅的な打撃を受ける可能性があるため、多くの組織がMicrosoft 365をビジネスに不可欠なアプリケーションであると考えています。このようなデータの重要性を考慮し、Microsoft社も、Microsoft 365のデータを保護するためにサード・パーティーの製品やサービスを利用することを推奨しています。<sup>1</sup>

IBM Storage Protect for Cloudは、主要なSaaSワークロードのクラウド常駐データをバックアップおよび復元できるデータ保護サービスとしてのバックアップ・ソリューションです。現在、Microsoft 365でご利用いただけます。



### Microsoft 365環境を内外の脅威から保護します

Enterprise Strategy Group (ESG) 社の調査によると、昨年中、10社中9社がEメールベースのサイバー攻撃を経験しています。<sup>2</sup>悪意ある攻撃と不注意による削除に対するデータの脆弱性により、企業はSaaSベースのデータのバックアップおよび復元を行うデータ保護ソリューションに目を向けるようになってきました。ESG社はさらに、Eメール・サービス・プロバイダーやサード・パーティーによるセキュリティ管理にもっとも欠けているのはデータ損失防止機能であると企業が報告していることを明らかにしています。

IBM Storage Protect for Cloud Microsoft 365は、ランサムウェア攻撃やマルウェアなどの脅威を検知し、復元操作やデータ保存のニーズに対応したクリーンなバックアップを確保できるようにしています。アラートを設定すれば、不審な操作の可能性のある変更が発生したときに早期警告を発することができます。潜在的なランサムウェア攻撃が検知された場合、管理者に通知を自動送信することができます。管理者は標準装備のレポート機能により、攻撃の詳細を確認し、安全な復旧ポイントを確認できます。

### バックアップおよび復元操作をよりきめ細やかに管理できるようになります

IBM Storage Protect for Cloudなら、スケーラブルなAzure Storageやプライベートクラウド、またはサード・パーティーのデータセンターなど、バックアップしたデータの保存先を選択することもできます。また、項目レベルでの復元機能を備えたエンタープライズ・クラスの保護機能も提供しており、セルフサービス・インターフェースにより、意図せず削除してしまった可能性のあるデータを復元できるようにします。

これらの機能により、組織のデータ回復力が向上し、内外の脅威や意図しないデータ損失に直面しても業務を中断させることなく、データ保持ポリシーとコンプライアンスに関連する法規制の変化に迅速に対応できるようになります。セルフサービス機能は、運用リソースをより効率的に管理するのにも役立ちます。

### IBM Storage Protect for Cloudを含む包括的なデータ回復機能 ポートフォリオを活用しましょう

IBM Storage Protect for Cloud Microsoft 365は、次のようなIBMの包括的なデータ保護および回復力ポートフォリオの一部です。

- IBM® Storage Defenderは、物理ファイル・サーバー、仮想環境、および幅広いアプリケーションに包括的なデータの回復力を提供します。
- IBM Safeguarded Copyは、データの隔離された変更不可能なスナップショットを作成することで、サイバー攻撃、マルウェア、不満を抱えた従業員による悪質な行為、その他の種類のデータ破損から組織を保護します。
- IBM FlashSystem® Cyber Vaultソリューションは、Safeguarded Copyにより定期的に作成されたコピーを自動的にスキャンし、マルウェアやランサムウェアによりもたらされたデータ破損の兆候を探します。

## まとめ

組織が地理的に分散したチームを連携させ、急速に変化し続ける状況に適応しようとする中、SaaSサービスの利用が急速に拡大しています。組織はSaaSサービスが提供するスケーラブルなオンデマンドのツールや機能を使用して迅速に対応できるようになりました。しかし、マルウェアやランサムウェアの脅威が増大し、ますます多くの事業にクリティカルなデータが危険にさらされるようになる一方で、データ保持やコンプライアンスの変化し続ける関連規制の遵守が一層困難になっています。

IBM Storage Protect for Cloudなら、Microsoft 365データを確実にバックアップするための安全で実効性のある方法で、バックアップの範囲、頻度、細分度、および場所を管理できます。さらに、セルフサービス機能が搭載されており、Microsoft 365の運用およびサポート担当者の手間を軽減することで、デジタル戦略の実現に集中することを可能にしています。

## IBMが選ばれる理由

IBMは、組織がITインフラストラクチャーのニーズに高い費用対効果で対応できるよう、幅広いハードウェア、ソフトウェア、サービスのポートフォリオを提供しています。こうしたポートフォリオの中には常時稼働で信頼できるストレージを提供し、災害復旧を可能にする堅固なデータ・ストレージ・ソリューションもあります。ビジネスニーズは変化します。そのため、IBMソリューションは相互運用性と、分析からマルチサイト・バックアップ、インスタント・リカバリーに至る新たなユースケースやアプローチの統合を重視しています。IBMなら、柔軟で堅固かつ回復力のあるストレージ・インフラストラクチャーを構築し、重要業務をサポートしてスムーズな運用と規制遵守を実現できます。

## 詳細情報

IBM Storage Protect for Cloudについて詳しくは、IBM 担当員またはIBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、[ibm.com/ja-jp/products/Storage-Protect-for-Cloud](https://ibm.com/ja-jp/products/Storage-Protect-for-Cloud)でご確認ください。

1. Microsoftサービス契約。第6条「サービスの可用性」 - <https://www.microsoft.com/ja-jp/servicesagreement/>
2. Enterprise Strategy Group (ESG) 社、2021年

© Copyright IBM Corporation 2023

日本アイ・ピー・エム株式会社  
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱  
崎町19-21  
日本アイ・ピー・エム株式会社  
〒103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町19-21  
2023年6月

IBM、IBMのロゴ、IBM FlashSystemは、米国およびその他の国々におけるIBMの商標です。その他の製品名およびサービス名は、IBMまたは他社の商標である可能性があります。IBMの最新商標リストについては次をご覧ください: [ibm.com/ja-jp/trademark](http://ibm.com/ja-jp/trademark).

Microsoftは、米国およびその他の国々におけるMicrosoft社の商標です。

本書は最初の発行日時点における最新情報を記載しており、IBMにより予告なしに変更される場合があります。IBMが事業を展開しているすべての国で、すべての製品が利用できるわけではありません。

本資料の情報は「現状のまま」で提供されるものとし、明示または暗示を問わず、商品性、特定目的への適合性、および非侵害の保証または条件を含むいかなる保証もしないものとしします。

IBM製品は、IBM所定の契約書の条項に基づき保証されます。

お客様は、自己の責任で関連法規および規則を遵守しなければならないものとしします。IBMは法律上の助言を提供することはなく、また、IBMのサービスまたは製品が、いかなる法規もしくは規則をお客様が順守していることの裏付けを、表明ならびに保証するものでもありません。

